

新しい生活様式に対応するリフォーム ワンポイントアドバイス

一級建築士事務所OfficeYuu 代表 尾間 紫

トレンド
ピックアップ

今、生活スタイルが大きく変化しようとしています。テレワークの推進、ウイルス対策、家に居る時間が増えたことによる家事の手間の増加、そして家時間を楽しみたいなど、住まいに対する新たなニーズが数多く生まれ、それに伴ってリフォームのニーズも増える見込まれます。

暮らしが変われば、求められる家の形は変わります。新しい生活様式で快適に暮らすためのリフォームの提案アイデアをご紹介します。

これから拡大するテレワーク、 家に仕事場が欲しい人が増えている

新型コロナウイルスをきっかけに、「テレワーク」の推進が進む傾向にあります。テレワークとは、テレ＝遠隔という意味で、インターネットを使って離れた場所から仕事をするスタイルのことです。

しかし、家で仕事をする環境を整えるのはな

かなか難しいと感じている人が少なくありません。アンケート(図-1)によると、テレワークの実施場所の1位は圧倒的にダイニングテーブルが多く、テレワークの悩みとして、オンオフの切り替えがしづらい、仕事専用スペースがない、仕事用のデスク・椅子がないなどが挙げられています。

また、同アンケート(図-2)によると、自宅に仕事環境を整備することに関しては、コロナ禍収束以降も約半数が間取り変更を希望していて、中でも仕事専用の小さな独立空間が欲しいと答えた人の割合が一番多くなっています。

コロナ収束後も、自宅でテレワークを行うというスタイルは、さらに広がっていき見込まれています。快適に効率的に仕事をするためには、やはり専用のワークスペースが必要です。今後は、そのための適切な提案が欠かせないものとなるでしょう。

テレワーク実施場所(本調査/全体/上位2カ所までの複数回答)

■ 今回調査 ウェイトバック後サンプル数: 5,544,910 実サンプル数: 1,390
 ■ 2019年11月実調査時 ウェイトバック後サンプル数: 1,222,849 実サンプル数: 815

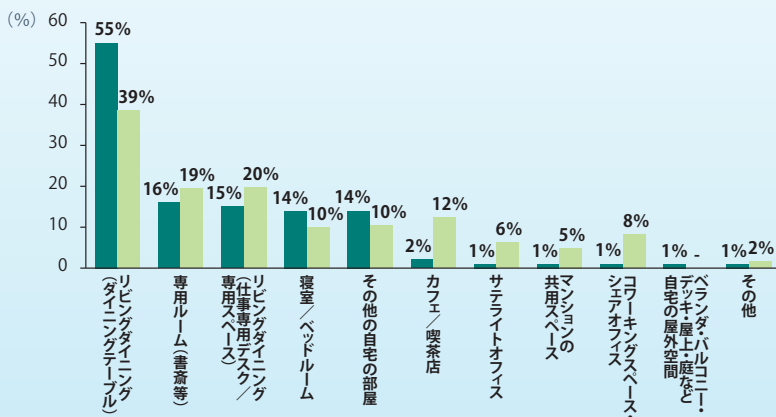


図-1 テレワーク実施場所に関するアンケート結果

新型コロナウイルスを受けたテレワーク×住まいの意識・実態調査 / (首都圏) SUUMO調べ

今後の間取り変更意向 (本調査/全体/3つまでの複数回答)

ウェイトバック後サンプル数：5,544,910
実サンプル数：1,390

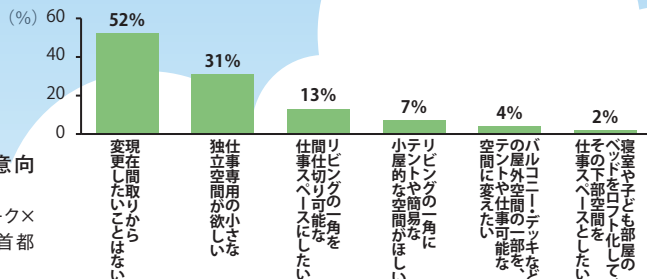


図-2 今後の間取り変更意向に関するアンケート結果

新型コロナ禍を受けたテレワーク×住まいの意識・実態調査 / (首都圏) SUUMO調べ

ワークスペースを作るコツは生活との切り分け、システム家具を使うアイデア

快適なワークスペースを作るコツは生活との切り分けや育児と仕事の両立、そして夫婦それぞれが快適に仕事のできる空間づくりにあります。視線、音、収納、家具の選定などさまざまな視点から、仕事に集中しやすい環境作りを検討してみてください。

初めにテレワークに必要な机のサイズを確認します。これは仕事の仕方によって異なるため、しっかりとした聞き取りが必要です。

ノートパソコンを使用するだけなら、奥行き35cmもあれば足ります。ノートパソコンの他に大きめのモニターを必要としている場合は、机の幅が90cmほど必要となります。ただし仕事には資料がつきものですから、収納の確保も忘れずに行う必要もあります。

ワークスペースは落ち着いて仕事ができるよう、ある程度の独立性を持たせるよう計画することが必要です。夫婦が共にテレワークに従事する場合は、それぞれが集中して仕事できるように机を分けるなど、お互いが快適なパーソナルスペースを確保できているかを事前に確認します。

リビングや寝室の一角にワークスペースを作る場合は、システム家具を使った提案をすれば、今後の生活スタイルの変化に対応しやすく、工期も短くて済みます。



写真-1

大谷産業 ギャラリー収納「1㎡書斎」 88,000円 (税込・配送組立費含む) デスクと収納が一体になったテレワーク専用のワークブース。ダイニングやキッチン一角に作れば子どもを見ながら仕事ができる

最近ではさまざまな家具メーカーがテレワークに対応しやすい家具を発売しています。写真-1は、1×1メートルのスペースに設置できる、デスクと収納が一体になったテレワーク専用のワークブースです。ほどよい目隠しで仕事と家事の切り分けがしやすく、コンパクトに機能がまとめられているので、面積が限られたお住まいでも提案がしやすくなっています。

システム家具は、後から付け足しや入れ替えができるもの、移動がしやすいものを選んでおくと、子どもが小さい時は、様子がよく見えるようにワークスペースをレイアウトし、大きくなったなら閉鎖性を高めるといったような変化に対応しやすくなります。

写真-2は変化に合わせて、組み換えや買い足し、引っ越しも可能なシステム家具です。100,000以上のパーツと36種類の表面材が揃っています。組み合わせのバリエーションが豊富なタイプなら、予算、間取り、インテリア、欲しい機能など希望通りのプランを立てやすく、今あるインテリアともコーディネートしやすくなります。



写真-2 大谷産業 ギャラリー収納「生活収納家具」
W1900×H1154×D600/1500 436,100円(税抜)
クラス4 PW色
組み換えや買い足し、引っ越しも可能なシステム家具。間取りに合わせてプランがしやすいのも特徴のひとつ

暮らし方は社会情勢によっても変わり、この先さらなる生活スタイルの変化が待ち受けている可能性もあります。

写真-3・4は、自分で位置を移動できる可動間仕切り家具です。軽い力で移動が可能ですので、仕事をしない時は壁付けの収納として、仕事に集中したい時は動かして間仕切りとして半個室を作ることができるなど、生活スタイルの変化はもちろん、暮らしのシーンに合わせて間取りを変えることができます。ストッパー付きですから、地震にも強い構造です。



写真-3



写真-4

セフィット「可動間仕切り収納グリッドタイプ」
186,200円(税抜)
自分で動かし間取りを変えることができる可動間仕切り家具。生活スタイルの変化にフレキシブルに対応しやすい家具

未活用空間を使う場合は断熱と空調、コンセントにも配慮を

家の中で活用されていない空間を、リフォームでワークスペースにするアイデアもあります。

例えば、あまり使われていない和室があったら、そこを洋室にして仕事場にする提案をするのはいかがでしょうか。その際は、半分を収納専用の小部屋に、残りの半分をワークスペースにすれば、収納の悩みも同時に解決することができます。

他にも、階段の踊り場や、階段下の収納部、小屋裏などにも、ワークスペースを作る提案が可能

です。ただ注意したいのが、このような場所は空調が整えられていないことが多く、夏に暑く、冬に寒いので、そのままでは仕事場には向きません。

エアコンが届くように間仕切り壁に室内窓を取り付ける、小屋裏の場合は断熱性能の向上と空調の設置を行うなどして、快適な環境を整えるよう留意が必要です。

また、このような場所には電源が無いことが多いので、コンセントの増設も忘れずに行う必要があります。テレワークにはインターネット環境が不可欠です。マルチメディアコンセント(写真-5)を取り付けておけば、Wi-Fiの電波が届き難い場所でもインターネットがスムーズにでき、テレビや電話の利用にも便利です。

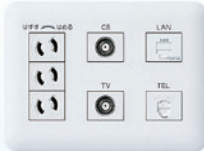


写真-5

Panasonic「コスモシリーズ ワイド21埋込 マルチメディアコンセント」WTF34355W 6,500円(税抜)

テレワークにはリラックス空間も必要、庭の新たな活用方法

テレワークには意外な問題点があります。通勤している時よりも疲れる、ストレスが溜まりやすいというものです。

通勤時間は時間と体力が必要ですが、生活の場から仕事の場へ気持ちを切り替えるのに役立っていますし、ランチタイムや同僚との会話は気分転換になります。

しかし、自宅ですべて仕事をし続けていると、このような切り替えが難しく、思う以上にストレスが溜まり、最近ではテレワーク鬱という言葉も聞くようになってきました。

そこで、集中しやすいワークスペースを作ったら、気分転換ができるリフレッシュのためのスペースづくりと一緒に提案するとよいでしょう。

例えば庭にサンルームやウッドデッキを取り付け、たまにはそこで仕事をしたり、休憩時間にのんびりと時間を過ごしたり。カフェで仕事をすると何となく仕事がかどる、仕事の合間にカフェに行ったりリラックスするとまた集中力が戻るといったようなことを、家でも叶えられるようになります。

写真-6・7の製品はウッドデッキに取り付けるテラス屋根・囲いです。屋根だけのタイプと囲って部屋のように作るタイプの2つのラインナップがあり、目隠しやドアの形状などの部材も豊富にありますので、予算や使い勝手などの要望に合わせて提案ができます。

新たな仕事のスペースとして、また仕事がかどるためのリフレッシュスペースとして、庭の新たな活用方法を提案してみてください。



写真-6 YKK AP「ソラリア」 囲いタイプ



写真-7 YKK AP「ソラリア」 屋根タイプ
屋根と囲いの2つのラインナップがあり、要望に合わせて提案できる

花粉対策で玄関クローク、 ウイルス対策で動線上に手洗いを

これまでも家の間取りは、さまざまな変化に伴って少しずつ形を変えてきました。例えば、花粉症や清潔感を重視する人が増えたことで、コート類は家の中に持ち込みたくないというニーズが生まれ、玄関でコートを脱いで掛けることができる玄関クロークが注目されるようになりました。

加えてこれからの新しい生活様式で、暮らしの中に定着すると思われるのが、帰宅後の手洗いです。ウイルス対策のためには手洗いが重要であることが分かり、外出から帰ったら必ず手を洗うという習慣が当たり前になりつつあります。

しかし、玄関から手洗い場まで遠いと、途中で家の中のさまざまな場所に触ってしまったら、そこをまた消毒して回ったりなど、大変な思いをしている人も少なくありません。

手洗いの習慣は、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症対策にも有効ですから、帰宅後に手洗いがしやすい家しておくことは、これからの住まい提案では必要なこととなるでしょう。



写真-8 LIXIL「どこでも手洗」有効寸法(壁間寸法)910mm(間口900mm) セット価格224,500円(税抜)
奥行きが小さいので玄関収納の奥行き内に納まる

手洗いの設置場所は、玄関から部屋の中に入るまでの動線上にあることが望ましく、石鹸類が置けること、またボウルは手が洗えるサイズであれば、小さくても十分に機能を果たします。ただし冬の手洗いを考え、給湯配管は必須となります。

写真-8は、玄関収納の奥行きに納まるコンパクトサイズの手洗いです。玄関内のちょっとしたスペースに納めることができ、またシンプルなデザインなので玄関のインテリアとしてもすっきりと馴染んでくれます。

手洗いの設置場所に関しては、玄関クロークと連携したプランにすることで、さらに暮らしやすい家になります。例えば、玄関からウォークスルーの玄関クロークに入り、そこで靴やコートを脱ぎ、近くですぐに手を洗って、そのままキッチンへ入れるような間取りなら、買い物から帰った後もスムーズに動きやすく安心して暮らせます。また、子どもたちの手洗いの習慣も付けやすくなるでしょう。

また、建材の中には、抗ウイルス、抗菌、抗アレルギー機能を持つものもあります。例えば写真-9は、DAIKEN独自技術の抗ウイルス機能「ビオタスク」を備えた建材で、空気中や手から製品上に付着した特定ウイルスの数を減少させるとしています。



写真-9 大建工業「ビオタスク」(抗ウイルス機能)付き手すり]

I型セット600D 11,800円/セット(税抜)

注意:抗ウイルス加工は表面に付着した特定ウイルスの数を減少させるものであり、病気の治療や予防を目的とするものではありません。新型コロナウイルスへの消毒効果や感染予防効果は確認できておりません。また製品の消毒方法についてもご確認ください。

手に触れることが多い玄関の手すりなどには、このような機能が付加された製品を提案することで、より安心感が高まることでしょう。

家事の負担が増加、さらに強く求められるようになった家事がラクな家

外出を控え、家に居る時間が長くなると増えるのが家事の負担です。人が増えれば家の中は汚れやすくなり、料理を作る頻度も上がるため、今まで以上に家事がラクな家が強く求められるようになっていきます。

掃除に関して言えば、掃除がしやすい建材や設備機器を選ぶだけでなく、便利な家電製品を使いこなせるよう、製品の機能を知り、それに合わせて住まいづくりの際にもちょっとした提案をすると喜ばれます。

例えば人気のロボット掃除機は掃除をラクにしてくれるのにとっても便利な家電ですが、まだハードルが高い部分があります。理由としては、部屋のスミに汚れが残るそうというものがありますが、いまどきは隅々まで手で掃除するように本当にきれいにしてくれます。

使いこなすためには、住まいのプランにも工夫が必要ですので、他のリフォームと一緒に、ロボット掃除機が使いやすくなる提案も、併せてしておくといいでしょう。

例えば写真-10のロボット掃除機は国産品の上位機種で、最大2.5cmまでの床の段差なら乗り越えることができるので、ラグの縁で立ち止まったり、薄いマットをめくりあげたりする心配がありません。ロボット掃除機を使う際に問題になりがちなラグを



写真-10 Panasonic「ロボット掃除機「ルーロ」MC-RSF1000」 オープン価格 カーペットなどを巻き込みにくい

使ったインテリアの提案の際も、使える機種があることを併せてお伝えすれば安心して頂けます。

また、家に人が居る時間が長くなると、散らかりやすくなるのはもちろんのこと、家で使うものが増えますので、これまで以上に収納に対するニーズが高まることが予測されます。

リフォームの際には、高効率の壁面収納などの提案も併せて行っておくことで、家の中が片付き、ロボット掃除機も使いやすくなるので喜ばれることでしょう。

また、ロボット掃除機を導入する場合は、充電台の設置場所の検討が必要になります。詳細な取り付け位置は使用するメーカーにより異なりますが、基本的には本体をよく使う部屋の、ひらけた壁面に設置しますので、コンセントの増設も忘れずに計画に入れておきましょう。

掃除がしやすい設備は年々進化しています。システムバスの中には、カビやピンクの汚れの発生を抑える除菌水が出るもの（写真-11）や、入浴後の浴槽内をボタンひとつで自動洗浄してくれる機能を持つものもあります（写真-12）。このよ

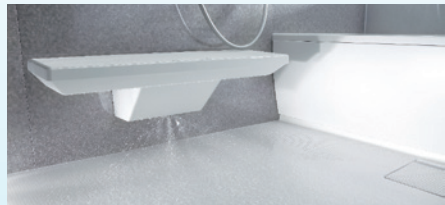


写真-11 TOTO「床ワイパー洗浄（きれい除菌水）」オプション機能62,700円～（税抜）



写真-12 TOTO「おそうじ浴槽」オプション機能144,200円～（税抜）

うな細やかなアドバイスを積み重ねていくことで、さらにリフォームの満足度を高めてくれます。

料理に関しては、これまで以上に家事がラクにできるキッチンや間取りの検討が必要ですが、加えて家で食事をする楽しさを叶える空間作りを提案することが、より快適な暮らしの提供につながります。

家で食べる楽しみ、食事がレジャーになる提案の時代へ

以前は閉鎖的だったキッチンも、今では広く明るく、そしてダイニングと一体化するプランが一般的になりました。キッチンリフォームでも、独立式のキッチンの間仕切り壁を取り払って、対面スタイルにしたいという要望が多くあります。

加えて、今の時代だからこそ必要なのが、家で食事をする楽しさを感じることができるよう提案です。外食はレジャーであり、その非日常性が心をわくわくさせ、ことさら美味しさを感じさせてくれます。最近では、デリバリーやテイクアウトが充実していて、素晴らしい料理を家で食べることができるようになっていますが、家で食べる食事は日常となり、何となく味気ない感じがします。

外食をする機会が減り、家で食べる楽しみを創出するためには、食空間への新たな提案が必要でしょう。

日常に非日常のエッセンスを少しだけ加えるのが、楽しい食空間を作るコツです。例えば、食卓に熱源があれば食事が一層楽しくなります。最近では、デザイン性が高いテーブル調理用の家電が人気になり、卓上で気軽に料理をするシーンが増えています。

しかし、そうなると気になるのが家の臭いです。テーブル調理をした翌日は家の中の臭いに悩んでいる人も少なくありませんので、消臭機能を持つ壁材(写真-13)や、空気を清浄する

食卓照明(写真-14)などを取り入れる提案も併せて行っておくといでしょう。

また、ダイニング空間のインテリアにもこだわった提案をすることで、より一層、食事時の楽しさが増します。明るさにメリハリをつけた間接照明を取り入れたり、柄物の壁紙を使って華やかに仕上げたり、レストランのように楽しいダイニングのプランを検討してみてください。



写真-13 LIXIL「エコカラットプラス」
材料参考価格12,900円/m²(税抜)
消臭・調湿機能を持つタイル状の壁材



写真-14 富士工業「クーキレイ」
C-PT511-BK 59,000円(税抜)
卓上調理用の空気清浄機能が付いたペンダント照明

庭やベランダなどの屋外に、非日常性を持たせた食空間を作るのもいいでしょう。外食でもテラス席は特別に人気があるスペースです。庭やベランダにウッドデッキを敷き、照明を配すれば、家に居ながらにしてテラスレストランのような雰囲気が味わえます。

家で楽しい時間が過ごせるアイデア、浴槽に注目を

家に居る時間が長くなったストレスを癒し、家に居ながらにして楽しい時間が過ごせるアイデアには、浴室の充実もあります。

システムバスの選定の際は、家事の負担を軽減するために掃除がラクであることが重要な条件となりますが、今後はもっと積極的に、リラックス、非日常性などのキーワードを提案していくことが求められます。わが家で温泉気分といった言葉は以前よりありましたが、今後はさらに注目されていくことでしょう。

中でも注目したいのが浴槽の形状です。日常的に湯に浸かるという習慣を持つ国は珍しく、日本人にとって浴槽は重要な意味を持っています。しかし、システムバスの選択の際、他の部位に比べると優先順位が低いらいがあります。

各社競い合うようにシステムバスは進化し続けているため、どれも似たように見え、選ぶのに悩むという消費者の声は少なくありませんので、そんな時は浴槽の入り心地で比較検討してみるよう助言をすると、新たな視点として喜ばれます。

実際に各メーカーのショールームに行き、浴槽の入り心地を比較してみると、驚くほどの違いがあります。最近では、浴槽内でリラックス姿勢を取った際の首の角度に着目した浴槽(写真-15)もあります。お風呂は毎日入るものですから、消費者が身体に馴染む浴槽と出会えるよう助言していくことが、リフォームの満足度を高めることにつながります。



写真-15 TOTO「ファーストクラス浴槽」
本体(基本仕様)+オプション 2,977.800円(税抜)
首と頭にフィットするヘッドレストがついたリラックス浴槽

ひとつの家でさまざまな用途に応えられる「住まい」が求められる時代

新しい生活様式では、家で仕事をし、食事を美味しく食べ、レジャーも家で楽しむなど、ひとつの家でさまざまな用途に応えられる「住まい」が求められます。

音楽室やトレーニングなどの趣味を楽しむ部屋も、これまでは特別なものといったイメージでしたが、オンラインレッスンの実施などにより、今後は幅広く根付いていくことでしょう。

社会情勢や生活の仕方が変わっても、いつでも幸せに暮らし続けることができるような住まいの提案をし続けることが、重要なこととなるでしょう。